

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホームえがお
作成日 平成22年5月20日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10・23・25・26	介護計画に家族の意見や要望が少ない。また入居が長くなると、入居前と現在の状況把握が充分でない。	家族の想いをもっと知り介護計画とサービスの充実を図る	①サービス担当者会議には、必ず家族に呼びかけ、ホームに来られない時は自宅に伺う ②利用者の自宅訪問を行い、入居前の生活環境を知り再度のアセスメントを行う	1年間
2	13	開設により新しい職員が多くなり介護職員の知識不足を補い「えがお」職員としての意識の統一を図る必要がある。	職員の介護の知識及び質の向上	①介護の研修計画を立て実施する。 ②外部研修情報を職員に回覧して参加希望を募る ③社会労務士による介護者のビジネスマナーの教育を行う。	1年間
3	33	開設して5年目に入り、利用者も入居当時とは、随分老いが進んでいる。看取りに対する知識が必要と考えられる。	看取りの体制づくり	①看取りの内部・外部研修を行う ②利用者の疾病について家族と主治医との連絡情報を常に諮る。	1年間
4	6・20	本人や家族の希望を受け止める事は必要だが、ホームとしての安全が一番と考える	安全な介護に努める	①電動車椅子は、事故発生が止められないので、中止して頂く。 ②ヒヤリハットとリスクマネジメントを通して、職員が考える介護を行う	随時～1年
5	35	実際、災害が発生した時の対応をもっと詳しく計画を立てる必要がある。	災害発生時の対応と対策	①火災訓練を行う時は、近所の方に協力して頂、災害が最小減度に防げるように考える ②災害時は入居者に印などを付け入居者の保護に努める。地域の方にも説明をする。	1年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

